

「日本の代表的な鉢花」 =シクラメンと鉢物カーネーション=

雪印種苗(株) 北海道研究農場

不破 規智・高橋 睦宏

1 はじめに

シクラメン～冬の代表的な鉢花～

そろそろ12月の声が聞こえる頃になると、花屋の店先にシクラメンやポインセチアの鉢物が目立つようになります。シクラメンは日本人の感覚に合った柔らかな雰囲気を持つ鉢花、ポインセチアはクリスマスを強くイメージさせる洋風の植物といえるでしょう。

シクラメンは日本で最も生産量の多いポピュラーな鉢物ですが、園芸植物として登場した頃は、栽培のたいへん難しい植物でした。しかし、品種改良と栽培資材の普及により、現在では大量生産が実現しましたし、家庭で手軽に長く楽しむことも可能となっています(写真1)。

鉢物カーネーション～シクラメンと表裏の関係～

冬に出荷のピークを迎えるシクラメン栽培の、いわば裏作として適しているのが4～5月に出荷となる鉢物用カーネーションです。近年になって多彩な花色の品種が登場し、さらに、消費者の手元でよく咲くことが認められて、母の日の定番商品となりました(写真2)。

2 家庭での楽しみかた

①シクラメン～水を切らさない・年に1度の植え替え～

15～20℃の、明るい室内で鑑賞します。水やりを忘れてしおれるほどに乾かすと、葉が黄化して枯れ始めますので、乾燥のしすぎには特に注意します。また、枯れ葉や咲き終わった花は、付け根から除去します。春には鉢から抜き取り、根鉢を崩さずにひと回り大きな鉢に植え替えます。植え替



写真1 シクラメンの生産温室：札幌市近郊



写真2 鉢物カーネーションの栽培温室：北海道夕張郡

えると新しい葉が出て球根(塊茎)が太り、株が大きく生長して見事な鉢物になります。

温暖地では、夏の間はほとんど生長しませんので肥料は与えず、かん水も少量に抑え、秋になってから施肥を再開します(夏の間は水をやらずに休眠させる方法もありますが、そのまま枯れる場合も多いようです)。一方、冷涼地では夏の間も生長と開花を続けますから、肥料と水を切らさないように注意します(写真3、4)。

②鉢物カーネーション～切り戻しと追肥で再び開花～

明るい室内、または雨の当たらない屋外などで、つぼみが咲ききるまで楽しめます。この時咲き終わった花を早めに摘み取ると、次のつぼみが早く開



写真3 ビクトリア 最高級のシクラメン鉢物



写真4 ピアス 色が変化する人気品種

花します。つぼみが咲き終わったら、根元から5～10 cmの高さに思いきって切り戻し、大きめの鉢やプランターなどに植え替え追肥すると、秋には再び満開になります。また、鉢物カーネーション品種の多くは、四季咲き性があり、宿根草として扱うことができます。

カーネーションは、通常の草花よりも肥料を多めに与えるのが栽培のコツとされます(写真5)。

3 注目の新品种

●ミニシクラメン『チェリッシュシリーズ』の紹介 (品種の分類)

シクラメンは家庭での室内鑑賞用のほか、歳暮やクリスマス等のギフトとして親しまれており、冬の「鉢物の女王」として鉢花生産、および販売において中心的存在となっています。出荷量は年を追うごとに増加しており、国内の年間出荷量は3,000万鉢前後(当社推定)と思われます。その中で、近年は低価格の小鉢に人気が集まり、ミニシクラメンの生産量が増加している傾向にあります。

大鉢生産では、手間と時間をかけて高価商品に仕上げるのに対し、小鉢の大量生産では、手入れ等の労働力をかけずに、高品質に仕上げるのがポイントとなります。ここでは、葉数および花数



写真5 ポットカーネーション「ドリーム」のハンギング



写真6 チェリッシュシリーズ
(手前：サーモン 右：ワインレッド
左：バイオレット 奥：ホワイトウィズアイ)

表1 チェリッシュシリーズを構成する品種

| シリーズ | 品種名 | 花色 |
|--------|-----------|---------|
| チェリッシュ | ワインレッド | ワインレッド |
| | サーモン | サーモンピンク |
| | ホワイトウィズアイ | 白+目 |
| | バイオレット | 濃紫 |

が特に多く、草姿が整いやすいミニシクラメン「チェリッシュシリーズ」についてご紹介いたします。

(花色)

チェリッシュシリーズ(商標登録申請済み)には、現在のところ花色は4色あり、今後、他の花色も加えてゆく予定です(表1)。

(特徴)

- (1)葉数および花数の多いことに大きな特徴があり、自然に草姿が整い、コンパクトでボリュームのある株型に仕上がりがやすい品種です。この性質により、シクラメン栽培で最も負担の大きな作業である「葉組み」を軽減できます(写真6)。
- (2)一般のミニシクラメンは花茎が細く伸びる傾向にあります。しかし、チェリッシュシリーズは花茎が太く伸びにくいいため、バランスの良い鉢物に仕上がりがやすい品種です(写真7)。
- (3)花が丈夫で寿命が長いため、出荷期の幅が広い品種です。また、株型が乱れにくいいため、販売店や家庭内でも長期間品質を保つことができます。

